

高槻東通信 vol.3

工事名：新名神高速道路 高槻高架橋東（鋼上部工）工事

2026年6月17日

上り線の鋼桁架設は2026年4月末にP1橋脚に到達しました。市道301号線、305号線の迂回・通行止めも問題なく順調に施工できました。6月末には高力ボルトの本締め作業も完了します。その後、下り線のベント基礎を構築し上り線のベントを転用します。そして、下り線の鋼桁架設を9月から開始します。まだまだ道のりは長いけど、安全対策を万全に工事を進めていきます。



安全巡視員：浅井史良



○お花見

上牧地区に咲く桜を発見、春が来た。もうすぐ上り線の架設も完了する。焦らずにじっくりと施工を進める。がんばろう！



工事名 新名神高速道路 高槻東鋼桁上部工工事
工程
種別
地点
お花見
架工要集 2026/04/07



上牧地区の方々が見る架設作業風景

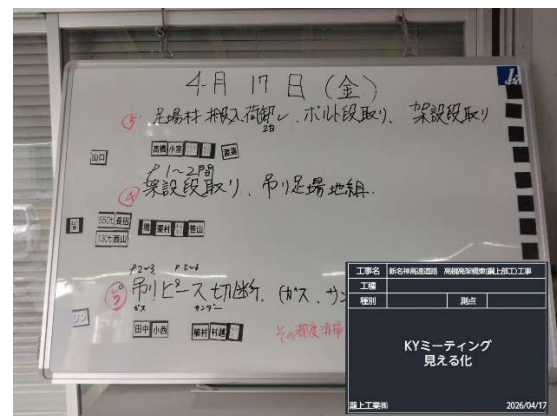
○下り線ベント基礎工開始

上り線の鋼桁架設が完了するころ、下り線のベント基礎工を開始、高力ボルトの本締作業終了後、上り線のベントを下り線に転用します。



○現場での創意工夫（見える化）

協力会社の作業員が見てすぐ理解できるようにホワイトボードに配置する場所と作業内容を記載、KY ミーティング説明する。その後は休憩場所に掲示し、いつでも確認できる工夫をしています。これは、元請の指示ではなく、協力会社の作業員が自主的に皆で話し合っ取り組んでいます。がんばれ！



○地域貢献（水路清掃）

毎年5月の第2週目の日曜日に上牧地区の水路清掃がありました。上牧地区の地域の皆さんにまじっての水路清掃、地域の方との距離がぐっと近くなります。清掃するエリアも広く、水路の幅も広いため回収するヘドロの量は半端ない。しかし、半日しっかり清掃した水路はとてもきれいになりました。まもなく、水路に水が満載され田植えが開始します。



○浅井史良 安全巡視員に聞いてみた。

Q 1. 安全巡視業務で一番大事なこと、または、苦労したことは何でしょうか？

A 1. 一番大切なことは日々のパトロールにおいて各作業状況を確認しながらどこに危険が潜んでいるか確認しつつ、作業員とコミュニケーションを取り、安全作業に努めて頂くことだと考えています。また、客先とのパトロール時における指摘事項に対し適切な回答を忌憚なく伝えられる事と客先要求を察知して事前に対策を練ることが重要だと考えています。

苦労したことについては、法令（安衛法・安衛法施工令・安衛則）や厚労省の案件（熱中症・化学物質等に関する情報等）及び橋建発行の「安全衛生 Q&A」など学ぶ内容が多岐にわたるため、勉強する時間の確保が難しいと思いました。

Q 2. 全国的に事故がなかなか減らない、しかし、当現場は約1年半、無事故無災害です。

安全巡視員として何か工夫、取り組みを実施されていますか？

A 2. 先ず無事故無災害については各作業員の努力の賜物だと考えています。この現場に従事されている方々の安全意識の高さには驚愕しています。

安全巡視員としての取組は、物理的な危険に関しては知識を増やして危険箇所を察知し各作業員に指導することと注意喚起の掲示をしています。また能力的危険については作業員毎の能力値を実作業中に確認し、問題がありそうな作業員に関しては注意を促すようにしています。また「きれいな現場作り」として毎日のパトロール時にゴミ拾いを行っています。なお、「事故が減らない」事象に関して思うところがあるとすれば「一作業一片付け」や「まず確認」といった基本的な行動が出来ていない方が増えているのではないかと思います。

Q 3. 高槻高架橋東の現場環境は如何でしょうか？満足していますか？

A 3. 前項でも申しましたが、現場に従事している作業員の安全に対するレベルの高さには特に問題を感じていませんし、客先もフレンドリーな関係を保っていますので大

変満足しています。ただ、高圧線の影響とハイピアでの高所作業は悩ましく思います
が事故が発生しない様最大限努力したいと思います。

質問に答えて頂いてありがとうございます。

引き続き、何かあったら「止める・呼ぶ・待つ」を徹底し、受発注者一体の安全管理体
制で施工を進めましょう。

次回、高槻東通信 vol.4 は 10 月上旬の掲載予定です。